

熊谷市史編さん委員会・専門部会 報告

(令和二年一月～一二月)

I 熊谷市史編さん委員会報告

令和元年度第二回目の熊谷市史編さん委員会の会議について、令和二年三月中旬から下旬の時期における開催を計画していたが、新型コロナウイルスによる感染症の拡大の状況を踏まえ、飯塚好委員長との相談の結果、やむを得ず中止することとした。

(文責 大野 幸人)

II 専門部会活動報告

一 中世専門部会

中世専門部会長 高橋 修

当専門部会は、平成二四年度に『熊谷市史 資料編2 古代・中世』を、平成三〇年度に『熊谷市史 通史編上 巻 原始・古代・中世』を刊行し、『熊谷市史』本編については、その編さんを終了している。前記のほかに、当専門部会が担当する調査報告書として、『中世の石造物』と『直実・実盛伝説』の刊行を予定しており、それぞれ以下の活動を行った。

1 調査報告書『直実・実盛伝説』

コロナ禍につき、期間中に会議等を開催することはできなかつたが、前年度の会議で決定した方針に従って、各担当が資料の収集や調査を行った。

2 調査報告書『中世の石造物』

当報告書は、今年度の刊行を予定しており、そのための執筆・校正・編集等を行った。

この報告書は二分冊を予定しており、次のような章立てとなった。

第一分冊

第一章 中世石造物の種類とかたち

第二章 熊谷市域における中世石造物の調査・研究のあゆみ

第三章 熊谷市の中世石造物の諸相

第四章 熊谷市の石造物一覧

第二分冊

巻頭写真（カラー）

第一章 図版編

第二章 写真編

【第一分冊】

第一章は、対象となる石造物についての解説である。磯野治司委員と栗岡眞理子委員が執筆した。

第二章は、これまでの熊谷の中世石造物についての研究のあゆみと今回の市史での調査概要・地区の様相について触れた。前者を野口達郎委員が、後者を元熊谷市史編さん室長の熊谷市教育委員会新井端氏が執筆した。

第三章は、編集委員による市内石造物についての考察である。五節二〇項にわたり、伊藤宏之委員、太田まり子委員、砂生智江委員、村山卓委員、諸岡勝委員、磯野委員、栗岡委員、野口委員が執筆を担当した。

第四章は、市内中世石造物の一覧と編年一覧、所在地一覧（部材の集計を含む）である。市内中世石造物の一覧と編年一覧については、砂生委員、栗岡委員、野口委員が確認作業や指導を行った。所在地一覧については、作成と集計作業を新井氏が行った。

【第二分冊】

巻頭写真については、その一部を磯野委員、村山委員、

諸岡委員から提供してもらった。また、諸岡委員が、必要な箇所の再撮影を行った。

第一章図版は、拓本や実測図などの図版に、銘文を付けたものである。図版の確認を栗岡、野口、諸岡委員が、銘文の確認を太田、野口、諸岡委員が行った。

第二章写真には、今回の調査で対象となった石造物の写真をほぼすべて掲載した。不足分の撮影について、太田、村山委員が行った。

現在、各委員の執筆、校正を終え、事務局による編集・校正作業が進められており、今年の三月には、調査報告書が刊行される予定である。

当調査は、平成一九年度から始まり、一〇年以上をかけて、五一四か所三三九五点の石造物について調査を行った。これらの調査地点に赴き、現地調査を行い、執筆・校正・編集等を行ってくださった編集委員各位の御尽力に厚く感謝申し上げます。あわせて、調査に御協力いただいた関係各位に深くお礼申し上げます。

二 近世専門部会

近世専門部会長 北村 行遠

近世専門部会では、令和二年の主な活動として、令和元年度の第三回部会、令和二年度の第一回・第二回部会をそれぞれ開催した。令和二年度は、あと一回部会の開催を予定している。

あわせて、各部会の前には、資料編三巻の巻担当者による打ち合わせを行った。二月二八日、七月二日、一〇月二三日、十二月二一日の計四回である。以下、部会の活動内容について略述する。

令和元年度第三回部会（令和二年一月一七日）

1 事務局報告 事務局から古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。

2 刊行に向けての計画 事務局から担当委員ごとの筆耕作業状況について報告があった。また、巻担当者より史料表題の付け方などの凡例について提案があり、その内容について検討した。

3 資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域（細野委

員)・熊谷宿(石山委員)のそれぞれについて報告があった。

4 調査の報告・計画 熊谷宿の大名通行に関する史料調査の一環として、加越能文庫(石川県金沢市)の調査を行う予定であるとの報告があった。また、吉田・松本両委員より埼玉県立文書館の長島家文書の調査を企画して欲しいとの要望があった。

令和二年度第一回部会(令和二年九月二〇日)

1 事務局報告 事務局より古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。

2 刊行に向けての計画 事務局から担当委員ごとの筆耕作業状況について報告があった。資料編の書名について検討を行い、「熊谷在方」を「熊谷村方」に変更した。その他に、資料編の文字サイズなどについて検討した。

3 資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域(細野委員)、熊谷宿(石山委員)、熊谷村方(藤井委員)について報告があった。また、栗原委員より資料編別冊付録「妻沼聖天山の絵馬・扁額」(仮)の進捗状況について報告があった。

4 調査の報告・計画 長島家文書(埼玉県文書館保管)、安中宿関係文書(群馬県安中市)、加越能文庫(石川県金沢市)の調査についてそれぞれ報告があった。

令和二年度第二回部会(令和二年十一月二日)

1 事務局報告 事務局より古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。新たに受け入れた古文書群に関する質疑があった。

2 刊行に向けての計画 事務局から担当委員ごとの筆耕作業状況について報告があった。また、資料編の解説の書き方などについて検討を行った。その他、人権分野に関する史料の筆耕状況や章節の入れ方などについて確認を行った。

3 資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域(細野委員)、熊谷宿(石山委員)、熊谷村方(藤井委員)についてそれぞれ報告があった。

4 調査の報告・計画 必要な古文書調査は、遠隔地も含めて検討していく必要があることを確認した。

三 近代専門部会

近代専門部会長 老川 慶喜

近代専門部会では、六月に専門部会会議を開催し、『熊谷市史資料編6 近代・現代1 熊谷地域編上巻』の刊行に向けて部会の体制を整えた。その後、一二月に現代専門部会との合同会議を開催し、協議の結果、両専門部会を統合することに決した。今後は、近代・現代専門部会として活動していくこととなった。(別記参照)

1 令和二年度第一回近代専門部会会議

(令和二年六月二十七日 市立熊谷図書館)

① 委嘱状交付

老川慶喜部会長に対し、専門委員(部会長)の委嘱状を交付した。

② 新編集委員候補者の承認

事前に推薦された伊藤陽平氏、栗原祐斗氏、中村一成氏を新たな編集委員として承認した。文化分野の担当委員は、今後、事務局から適任者を推薦することになった。

③ 『熊谷市史資料編6 近代・現代1 熊谷地域編上巻』

の編集及び刊行について

当専門部会及び現代専門部会の意向等を踏まえ、刊行年度を令和八年度以降に変更する提案が事務局からあり、承認した。また、部会長が現代専門部会長を兼任する案については、両部会を統合する方向で協議を進めることとなった。

④ 古文書調査の現状及び今後の見通しについて

事務局から関係文書群の調査状況等についての報告を受け、委員から、今後の調査(県立高校・金融機関等)について提案があった。

四 現代専門部会

市史編さん室

現代専門部会では、『熊谷市史資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下巻』の刊行に向けて、一月及び八月に専門部会会議を開催し、部会の新体制について検討した。協議の結果、近代専門部会との統合を当専門部会としての方向性とすることになり、最終的に一二月の合同会議

において正式に決定した。

また、併せて各委員が資料調査を進めた。

1 令和元年度第一回専門部会会議

(令和二年一月一四日 妻沼中央公民館)

吉野担当副参事が議事を進行し、次の事項について協議を行った。

① 人員体制について

退任した編集委員の後任及び部会長の選任等について協議を行った。須長委員から新たな編集委員候補者の推薦があり、次回の会議において正式に諮ることとなった。また、部会長については、協議の結果、老川慶喜近代専門部会長に兼任を要請することになった。

② 刊行スケジュールについて

当専門部会の担当する『熊谷市史 資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下巻』は、現行の計画どおり令和七年度に刊行予定とすることを確認した。

③ 『熊谷市史 資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下巻』の編集について

上下巻の画期を昭和二〇年八月の太平洋戦争の終結

(終戦)とすることについて了承した。

2 令和二年度第一回専門部会会議

(令和二年八月二一日 妻沼中央公民館)

吉野担当副参事が議事を進行し、次の事項について協議を行った。

① 新編集委員候補者の承認等

須長委員から推薦された飯田明彦氏を新たな編集委員の候補者として承認した。また、事務局から、山本喜久治氏に協力員への着任を依頼したことを報告した。

② 刊行スケジュールの変更について

事務局から、当専門部会が編集を担当する資料編6及び7並びに通史編下巻の刊行時期の変更について、年次計画の改定素案により説明し、了解を得た。

③ 今後の活動について

近代専門部会との統合の方向性について了承した。なお、両日とも会議終了後に資料調査を行った。

五 近代・現代専門部会

近代・現代専門部会長 老川 慶喜

一二月五日、近代専門部会及び現代専門部会の合同会議を開催し、両部会の統合を決定した。

今後については、全委員による会議の開催を基本とし、必要に応じて担当巻別の活動を行うことを予定している。

近代専門部会及び現代専門部会合同会議

(令和二年一二月五日 熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」)

①委嘱状交付

小林壽朗、齋藤邦明、竹村到の各編集委員(特別調査員)に新たに専門調査員の委嘱状を、また、飯田明彦、伊藤陽平、栗原祐斗、中村一成の各氏(新任)に特別調査員の委嘱状を交付した。

②専門部会の統合及び部会長の選出について

両専門部会を統合し、老川慶喜専門委員が新たな部会長に選出された。なお、新専門部会の名称は「熊谷市史近代・現代専門部会」とした。

③今後の活動について

資料編6及び7の目次案に従い、新任を含めた各編集委員等の担当分野を決定した。また、事務局から文化等の分野の担当者の候補者として、市立熊谷図書館の大井教寛主幹の紹介がなされた。

なお、今回の会議については、三月までに開催する予定とした。

六 仏像・仏画専門部会

仏像・仏画専門部会長 林 宏一

1 調査報告書「仏像・仏画1」の刊行

三月に、調査報告書『仏像・仏画1』を刊行することができた。三分冊のうちの第一冊目で、市内北部地域の八五か所一、五〇〇点以上の仏像・神像等を取り扱った。また、図版編を付け、江戸時代以前の仏像等一、〇〇〇点以上のカラー写真を掲載した。自治体史としては、今までに例のない取り組みであろう。

当書の編集に特に尽力していただいた、西口由子、原口雅樹専門調査員、また、助言をいただいた坂東隆秀特

別調査員、さらに、調査に参加して下さった多くの編集委員・協力員に誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

今後、二冊目以降の刊行に向け、さらなる調査を進めていく。

2 仏像・仏画悉皆調査

平成二四年から調査を開始し、令和二年度は九年目となる。

本年は、コロナ感染症流行の影響により、三月～一月までの調査が中止となり、三日間六か所の調査を行ったのみとなった。

調査内容は、写真撮影及び寸法や形状・材質等を記した調査カードの作成である。この一年間で一〇〇点超の仏像・仏画等の調査を終えた。九年間の累計では、二、六〇〇点超の調査を行ったことになる。

なお、調査後の調査カードと写真の整理は西口由子専門調査員が行った。また、当調査のデータベースの構築を原口雅樹委員が行っている。

令和二年に実施した調査は以下のとおりである。

- 1 小江川保泉寺（二月二七日）
- 2 押切宝幢寺（二月二七日）
- 3 熊谷聖天宮（二月九日）
- 4 東別府京藏寺（二月九日）
- 5 久下東竹院（二月二一日）
- 6 下奈良個人蔵（二月二一日）

最後に、調査先寺社、自治会関係者、調査協力者等の多大なる御協力に対して、心よりお礼申し上げます。